

2010年10月1日

報道各位

住友金属鉱山株式会社

電池研究所の新設について

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長家守伸正）は、資源、製錬と並んでコア事業として位置付けている「材料事業」の分野において、H E V (Hybrid electric vehicle) / E V (Electric vehicle) 向けで大きな成長が期待できる二次電池用正極材事業の拡大を加速するため、10月1日付けで「電池研究所」を新設することといたしました。

新設する電池研究所は、これまで研究部門と製造部門に分かれていた開発体制を統合し、研究開発の一元的体制を確立するとともに、事業化までを視野に入れた総合的な開発機能を持たせ、顧客ニーズへの迅速かつ確かな対応を図ります。また、次世代電池材料についての長期ビジョンに基づく基礎研究や電池評価技術確立等にも取り組むことにより、電池材料に関する基盤技術を強化していくこととします。

当社電池材料事業は、現在、大手自動車メーカーに採用されているH E V用ニッケル水素電池正極材および高性能パソコンなどで採用されている高容量リチウムイオン電池用正極材を主力製品としています。

当社は、今後の市場拡大が期待される一方、ますます熾烈になっている電池材料マーケットでの競争に勝ち残るため、これら主力製品の改良強化により既存顧客でのシェアアップを図るほか、H E V / E V用および民生用市場をターゲットとした新たなニッケル系および三元系リチウムイオン電池正極材の事業化、ならびに市場ニーズに対応した高エネルギー、高安全性の新規材料開発等による新規需要開拓をめざしています。電池研究所の開設は、この事業戦略をさらに加速させるものです。

電池材料事業については、主要原料であるニッケルおよびコバルトの自社生産、電池材料の開発およびリサイクルを一貫して推進できる当社の強みを活かし、今後とも経営資源を重点的に投入し事業拡大を図ってまいります。

（電池研究所の概要）

所在地：愛媛県新居浜市磯浦町 17 - 5（現新居浜研究所内）

所 長：葛尾 竜一

人 員：約 30 名(2010年10月1日現在)。近い将来に増員を図る予定。

（本件に関するお問い合わせ先）

広報 IR 部 高橋 雅史

TEL：03-3436-7705